



わーい！みんなの公園ができたヨ～！



全面オープンされた児童相談所跡地(元町2丁目)の公園。多くの方が遊び、憩いの場所として利用しています。

### うらわ宿文芸

うらわだいに

詐欺的マジック  
これ憲法9条でしょ！ここに自衛隊をポンと入れて、クルクルって混ぜると...  
ほら！9条2項が名目だけになっちゃった。これって、凄くないッ？！

サギー晋三  
(前地 さぶろ)

国民の声  
変えるな！憲法  
変えよう！首相

(岸町 佐久間純)

川柳

箸が出ねえ汚染市場の初カツオ  
丁寧に説明とだけ丁寧に  
獣医学部増やす手品で加計隠し？  
(前地 さぶろ)

小池さんひっかき回して折衷案  
支持落ちた人格も落ちた退陣だ  
反省はしても実行しない総理  
(岸町 だん吉)

俳句

国政を私物化恥しぬ蟻地獄  
(岸町 佐々木道歩)

背負わる子にもリュックや奢我の花  
花擬宝珠蝶止まるでもなく茎ゆらす  
鉄線花フェンスに吊るす落し物  
(前地三 S・M)

(本太一 Y・Y)

都議選翌日の三日、新宿駅西口に勢揃いした一九人の都議と志位委員長、小池書記局長、衆院東京比例区の議員・候補者



都民ファースト第一党にぶれない政党として存在感を示した共産党

7月2日に行われた都議選は、これまで強権的に進めてきた安倍政権に衝撃的な結果を突き付けました。都議選とはいえ首都東京での選挙であり、この結果は国政に直結する傾向にあるからです。今回の選挙は都民ファーストという小池都知事のフームにたよった新党を中心に公明党が自民支援から離脱するという複雑な選挙情勢の中で行われました。一番の衝撃は自民党で、公明党の支援がない上に、国政での度重なる腐敗が重なる得票数は約37・3万票減り、得票率も13・5%のダウンとなったことです。中でも、共産党と激しく争った品川区、目黒区、豊島区、北区、板橋区、北多摩1区、同3区、同4区で共産党に敗れたことは大きな衝撃を与えました。この結果は今後の国会運営や改憲論議、そして解散総選挙、そして今後の埼玉県議会選挙やさいたま市議会選挙にも大いに教訓と影響を与えるものと思われまます。

都議選結果に思う———  
この流れを持続させ全国に広めたい

7月2日付のしんぶん赤旗(日曜版)で、私がいま最も関心を寄せている政治学者の一人である白井聡さん(京都精華大学専任教員)が次のように語っていました。「安倍政治のキーワードは国家権力の私物化で、『森友学園』問題も『加計学園』問題も首相のお友達や側近が絡んだもの。汚職であるだけでなく『専制政治』だ。安倍さんの本質は『コンプレックス』と『特権意識』。名門政治家一家に生まれ、父や祖父の優秀さに比べるとはるかに劣っていることに対する劣等感。結果、祖父岸信介の遺志を継ぐのが自分の使命と妄想を抱くようになる。それを支えるのが『特権意識』で、生れながらにして支配階級であり、その立場にいるのが当たり前という意識が読み取れる」「安倍政権の支配する今の日本は民主主義国家ではない。もちろん近代国家でもない。法治主義もずたずたになっている。日本がこのまま専制腐敗国家になっていくのか、それとも安倍政権を一扫し、まともな近代国家になれるのか、大きな分岐点に来ている」(2面につづく)

### \*耳より情報\*

- ◆共産党市議団市政学習会  
「どうなる？わたしの国保税」  
7月14日(金) 14時~16時  
大宮ソニックシティ601会議室 参加無料
- ◆オール浦和区の会 駅頭宣伝  
7月20日(木) 17時~18時  
浦和駅東口パルコ前
- ◆2017国民平和前行進  
7月24日(月) 13時集合  
北浦和駅西口 さいたま市役所まで行進
- ◆2017平和のための埼玉の戦争展  
7月29日(土)~30日(月)  
10時半~18時  
浦和駅西口コルソ7階ホール
- ◆第4回 福島の実状を知るバスツアー  
9月10日(日)  
午前6時50分集合(駒場サッカー場前)  
費用 6000円(交通費・資料代・保険料)  
昼食 各自持参  
定員 45名(定員なり次第締め切り)  
連絡先 048-885-0098(鳥海) 048-886-6793(竹内)

### 《日々想》

三一年務めた職場を定年退職した。失業保険金の給付で、初めて職業安定所ハローワークを訪れた▼ここでは常に多くの人が職を探している。中にはリストラにあい家族を抱えて一時をあらそう人もいるのだろうし、夢を持って就いた仕事でハラスメントにあい、やむなく転職をする人もいるだろう。定年後の仕事を求める人も見かける▼職員は最新の専門技術や資格取得にまで力を貸し、希望の仕事が見つからなければ未知の新しい分野も紹介してくれる▼仕事に就きたい人全員が、食べていくだけで精一杯の仕事でなく、本当にしたい仕事に出会えて最後まで全うできる、そんな社会になればよい▼都議選結果の出した日、七夕の短冊の一つはこれにした。(ち)

(1面より)  
 「どれだけ自民党を負けさせられるかが選挙の争点。自民党は立憲主義も国民主権も投げ出した利権と対米従属だけの極右政党になってしまった。立場がいささかもぶれないのが共産党、都議選で共産党が前進し、その力で野党共闘を推進し、安倍政権を追い詰めて欲しい」。

私も、何故安倍内閣の支持率が下がらないのか、何故菅官房長官や高村副総裁や二階幹事長などが

傲慢な態度を続けられるのか、何故稲田や高市や萩生田などが居直っていられるのか、何故訳も分からぬ2回生議員が暴言をはくのか、何故自民党内から安倍批判の声があがらないのか、長年疑問に思ってきた。そして、私たちがいくら政治活動をして頑張っても変わらないのは、まだ日本が近代国家になっていないからなのかとあきらめかけてもいる。白井聡さんのこの主張にまったく同感であった。しかし今回の結果をみて大変感動

した。都民の意識は健全な方向にようやく動き出したのではないかと感じた。

そしてこれは全国民の動きにも通ずるのではないか。根本的な何故に対する答えにはいたってないがこの流れをさらに埼玉にも全国にも広げたい。そして一過性にならないように持続させたい。そしてこれまで保守と言われていた人々にも話しかけて何故を研究していきたいと思う。(編集部 古澤)



「うらわ宿」読者の皆さんこんにちは。  
 H29年度の私の議会における所属委員会などについてお知らせいたします。  
 担当常任委員会は、「まちづくり常任委員会」に所属することになりました。  
 この委員会は、都市計画決定議案や上下水道議案、道路・河川など建築行政議案を審議します。先の市長選挙の争点にもなったいわゆる「大型開発」も議論されます。さいたま市の大型開発は、「2都心4副都心」を中心に5000億円の税金がすでにつき込まれ、さらに大宮駅周辺再開発、浦和駅西口南高砂地区再開発なども含めて今年度170億円がつき込まれます。

さらに、2020年のオリンピックを理由に、華美な施設建設なども計画される懸念もあります。「都市計画審議会」は、大型開発計画など都市計画案を議会にかける前に、市長の諮問で審議する「審議会」で、一般市民からの公募委員や、学識経験者、専門家をはじめ、議会からは4人が派遣されます。本格的に議会で議論される前の段階で計画の正当性、妥当性が議論される重要な審議会です。市民の立場からの公共事業に切り替えさせるためにも、気を緩めることのできない重要な仕事です。  
 みなさんのご意見を伺いながら、慎重に議論したいと決意しています。

**平成29年度は「まちづくり委員会」に所属 併せて3年連続の「都市計画審議員」を担当します**

さいたま市議会議員 とりうみ敏行

「子どもの成長と絵本・物語」 講師 斎藤惇夫氏  
 日時 7月23日(日)午後2:00~4:00(受付開始1:30)  
 場所 さいたま市民会館うらわ 705・706集会室  
 参加費:500円(定員100名)  
 申込 メール [kodomosanpo@gmail.com](mailto:kodomosanpo@gmail.com) FAX奥山 048-294-1876



**子どもの本の散歩道・案内役**  
 吉田雅人

私は、斎藤惇夫氏の講演会(7月23日)を共催する「子どもの本の散歩道」の事務局を務めています。この「散歩道」は、斎藤氏に知恵をお借りしながら、子育て真最中の母親達が子どもの本について学び合い、交流し合うことを目的に発足した「会」です。今回の講演会も、「子どもが成長していく中で、絵本や物語はどんな役割を果たすのか?そして私たちは、どういう未来を子ども達に伝えていこうとしているのか?」そんなテーマを、より広い方々と共有し

たくて企画させてもらいました。今の安倍政治や大人社会は、子ども達の目にどのように映っているでしょうか?「大人は信用できない!」「世の中なんて、どうせそんなものさ!」・・・そんな子ども達の声が聞こえてきそうで、胸が痛みます。健全な政治を創り出すこと、そして、子ども達が本来持っている可能性を育める「場」を創り出していくこと、それが、私たちの責任ではないでしょうか。「オール浦和区の会」の呼びかけ人をされている斎藤惇夫氏は、福音館書店で取締役まで務め、たくさんのお本を子ども達に送り届け

てきた方です。また「ガンバの冒険シリーズ」を始めとする作品を発表された、著名な児童文学作家でもあります。4月には、浦和で幼稚園の園長さんも引き受けられました。

今、斎藤惇夫氏ほど熱く、しかも豊かな知見に裏付けられて、子どもの本を語れる人はいないと思います。子どもの文化・環境は全ての大人が関心を持ち、守っていかなくてはならないものです。23日の講演会には、子育て中のご父母は勿論、多くの皆さんに参加して頂きたいと思います。当日、会場でお待ちしております。

**学んでキラリ☆講演会2つ** 7月、8月に行われるお薦めしたい講演会を二つ案内します。それぞれ講演会を主催する担当者に案内文を寄せていただきました。

「混乱と早魃のアフガニスタンから『平和』を考える」 講師 中村哲医師  
 日時 8月25日(金)18:30~(受付18:00~) 場所 埼玉会館大ホール  
 前売入場券1000円(学生—中学生以上500円)当日:一般1200円(学生500円)  
 申込・連絡先 阿久津048-814-1911

**中村哲講演会実行委員会**

阿久津俊昭  
 中村哲医師の活動をご存じですか。ハンセン病治療のためパキスタン北部ペシャワールに赴任以来34年。アフガニスタン東部で、医療活動のかたわら1600本の井戸を掘り、相次ぐ戦乱と早魃(かんばつ)で難民化した人々の帰還のために灌漑用水を拓いて「緑の大地計画」を進めています。この中村医師の活動を是非、多くの皆さんに伝えたいと、九条の会・さいたまを中心として、埼玉県内の15団体で実行委員会をつくり、

中村哲医師講演会成功のため取り組んでいます。この企画にたいしは、県内30団体以上の賛同を得、さらに、埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会、テレビ埼玉、朝日新聞(埼玉総局)、毎日新聞(さいたま支局)、東京新聞(さいたま支局)、埼玉新聞社、原爆の図・丸木美術館からの後援も受けています。

国内では、安倍政権による国政私物化に批判が高まっています。そして、安倍政権は「共謀罪」法を強行し、憲法9条改定を強行し

ようとしています。国際貢献の名の下に自衛隊の海外での活動が拡大されようとしている今、中村哲医師の献身的な支援活動は私たちに真の国際貢献、真の平和、真の豊かさを教えてくれます。中村医師は語ります。「9条があるから、海外ではこれまで絶対に銃を撃たなかった日本。それが、ほんとうの日本の強みなんですよ」

「平和」「国際貢献」「豊かさ」「憲法9条」をご一緒に考えたいと思います。是非、お越し下さい。